



ほんなこて **ゆたたり**

文責 校長 平井 敏博

【令和6年度学校教育目標】
大人も子どもも、目指すは“とことん学び続け、とことん学び合う人”
～生涯学びの基礎づくり～

“フリー参観週間”で共有したいこと ～日常の学校生活の様子を～

最近の学校生活の様子を、写真でいくつか紹介します。



1年生が“鉄棒遊び”をやっています。まず、易しい技からやっていきます。できそうでできない技が、その人の“めあての技”になるわけです。



和菓子職人の講師をお招きし、5年生が和菓子づくりに挑戦しました。手順をよく聞いて、実際にやってみる時間です。ものづくりの楽しさを味わっていました。



6年生の国語の時間です。“論の進め方をくふうして書く”というのが本時のめあてでした。タブレットを使って自分の文章を考えていました。



2年生の道徳の授業です。ペアをつくって、自分の考えた“主人公の気持ち”を発表し合っていました。初歩の“学び合い”と言えます。



4年生の社会科の授業です。家庭で使う1日の水の量について、自分の生活体験から予想を出し合っていました。2ℓのペットボトルに換算して考えていました。



3年生の避難訓練（不審者対応）の様子です。火災、地震（津波）、不審者等、それぞれの災害の特性に応じた対応が必要です。小学校段階では、避難の原則の周知を柱に取り組んでいます。

日々、学校ではいろいろな教育活動に取り組んでおります。加えて、いろいろな問題・課題も出てきます。すべて、子ども達にとっての大事な大事な学びの機会となります。

いろいろな人達との関わりがあります。相手の気持ちを考えたり、学級や学校のルールを守ったりすることも、とても大事なことです。試行錯誤、山あり谷ありで身に付いていくことです。

昨年度より実施している“フリー参観週間”です。子ども達のすばらしいところ、良いところをたくさん観てほしいです。しかし、課題が観えてくることもあります。課題を共有して、学校と家庭が協力して解決に向かって動き出します。

フリー参観週間後にアンケートを実施し、感想等お聞きしたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

“学校学び”と“個人学び”の**学び方** ～教育活動の基盤として～

あえて“学校学び”と表現しました。日常の授業を進めていく上で、私語（おしゃべり）のコントロールと話の聞き方は、“学校学び”では重要です。一斉活動が基本となるので、説明や指示を聞くことが必ず出てきます。

ただし、講義形式や一方通行の教授を推奨するわけではありません。できるだけ教師の話を短くして、子ども達の活動を保障する教育活動の在り方を日々研究・研修しております。

活動を保障し、かつ、子ども達それぞれの“成長”“伸び”“変容”を実感できる教育活動を目指して取り組んでおります。基本となる学び方が“めあて－活動－ふりかえり”となるわけです。“学校学び”でも“個人学び”でも共通するものだと考えております。フリー参観の視点にいただければ幸いです。